

鳥海ダムだより

国土交通省 東北地方整備局 鳥海ダム工事事務所

第57号

2018.9.10発行

畑中喜右衛門慰霊祭が行われました!!

～ 子吉川の河川改修に尽力を尽くした偉人の慰霊祭へ参列 ～

平成30年9月7日(金)に、由利本荘市吉沢にある畑中喜右衛門碑前にて慰霊祭が行われました。

畑中喜右衛門は、子吉川の洪水による河岸の洗掘を防ぐため、代官所に対して何度も河川改修の願い出を行いました。度重なる願い出に腹を立てた代官から憎まれ、農民扇動の罪で、万治元年(1658年)9月7日に打ち首にされました。

処刑される際に畑中は、「我なき後も靈魂はここにとどまり、必ず川の流れを変えるであろう」と遺言を残したと言われています。

慰霊祭は、毎年この日に行われており、今年度は、秋田河川国道事務所 齊藤技術副所長をはじめ、三瓶河川管理課長、佐々木子吉川出張所長が、鳥海ダム工事事務所からは太田調査設計課長の他、県や市などからも参列して、しめやかに行われました。

子吉川の洪水から地域を守るため、鳥海ダム工事事務所も事業の進捗に努めていきたいと考えております。



▲「降神の儀」の状況



▲太田調査設計課長による「玉串奉奠」

流量観測の作業を体験しました!!



▲袖川発電所前では船に乗って観測!(右端)



▲百宅川では徒歩で川に入りました!(左側)

流量観測とは、河川の形や流れる水の速さを計測し、河川の流量を算出する作業です。河川の管理やダム建設の際に必要な水文観測作業で、鳥海ダム工事事務所では毎年作業を委託しています。

川幅や水深が大きい袖川発電所前では船に乗って、また、水深の浅い百宅川では徒歩で川に入り、作業を行いました。途中胴長に穴があったため浸水しましたが、水深や流速の計測を行い、その後、事務所に戻り流量を計算しました。

流量観測の手順を実際に経験することができ、とても良い経験になりました!

(体験者:調査設計課 大場技官)

事務所にインターンシップで高校生が来ました!!

～ 地元高校生による就業体験の実施 ～

平成30年9月4日～6日までの3日間、県立西目高等学校総合学科土木コースの2年生1名が、鳥海ダム工事事務所において就業体験を行いました。

◆9月4日(火)

午前中は東北地方整備局の仕事(河川、ダム、道路など)や、ダムの役割、ダムを造るまでの過程、環境影響評価の概要などを勉強しました。午後からは流量観測、ボーリングの積算などを行いました。

◆9月5日(水)

午前中は成瀬ダム(東成瀬村)に出向いて事業の説明を聞きました。午後は工事中の2号トンネルや、成瀬ダム本体の工事現場の見学を行いました。工事中のトンネルの中に入ったり、ダムの現場を見たのは初めてだったので、とても貴重な体験ができました。

◆9月6日(木)

最終日の午前中は、流量観測体験を行いました。実際に船に乗り、流速計での流量観測を行いました。午後からは、調査ボーリング作業の見学を行い、標準貫入試験を体験しました。その後、鳥海ダム工事事務所に戻り、流量観測の計算と、この記事の作成を行いました。3日間とても貴重な体験をさせていただきました。

鳥海ダム、成瀬ダム、事業者の皆さん、本当にありがとうございました。(県立西目高等学校2年 佐藤)

9月4日(火)

数量計算を解く実習生



CSGダムのビデオを熱心に見る実習生



9月5日(水)

2号トンネル工事現場見学



成瀬ダム工事現場見学



9月6日(木)

流量観測を体験する実習生(右端)



ボーリングコアを観察



編集後記

9月に入り、暑さも落ち着いてきたかと思えば気温が30度を超える日もあり、熱中症対策に気が抜けない日々が続いております。

9月は台風シーズンです、今年は各地で災害が相次いでおりますので、自治体のハザードマップ(防災マップ)等を確認するなど防災意識を高めて台風シーズンを乗り切っていただければと思います。

安全・安心の子吉川に抱かれて、より豊かに暮らせる、わたしたちの郷土のために。

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム工事事務所

〒015-0885 秋田県由利本荘市水林408番地

TEL. 0184-23-5120 FAX. 0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>